

故松尾榮さんから 多久市に寄附をいただきました



平成21年12月10日に逝去された故松尾榮さん(多久町)から「福祉に活用してください」とのご遺志により、300万円の多久市ふるさと応援寄附をいただきました。

松尾さんは、昭和55年から29年間、多久市身体障害者福祉協会会長を昭和58年から26年間、佐賀県身体障害者団体連合会会長を務められたほか、この間に日本身体障害者団体連合会会長や、佐賀県障害者社会参加推進センター理事、佐賀県障害者スポーツ協会会長、多久市議会議員、多久市社会福祉協議会理事などを歴任され、正五位旭日中綬章を受章されました。ご厚情に感謝し、いただいた寄附金を福祉の増進のために有効に活用させていただきます。

多久市文化連盟 文化功労者表彰



平成21年度の文化功労者表彰式が2月14日に中央公民館で行われました。受賞者は次の方々です。(敬称略)

- 芸術文化功労賞
- 梶原 悦子 (日本舞踊連合会)
 - 田中 邦子 (美術協会)
 - 山口 哲雄 (音楽協会)
 - 芸術文化賞
 - 森山 孝 (文芸協会)
 - 池末 和子 (日本舞踊連合会)
 - 長谷川恵美子 (民踊舞踊連盟)
 - 高添 福代 (音楽協会)
 - 原 勝弘 (音楽協会)
 - 新郷 松次 (囲碁将棋連盟)
 - 甲斐 藍子 (美術協会)
 - 高屋克之助 (孔子の里芸能保存会)



市長のWindow

▼市民のみなさんへ

オリンピックと経営スピリット

バンクーバー冬季五輪が催された。スピードスケート500mで長島選手は銀メダル、加藤選手は銅メダル。若手二人の選手の所属会社は、あの清水選手を輩出した会社でもあった。その会社もかつては経営危機に襲われ、その後社名を変えて存続し、スケートの伝統が継承されて今回の結果につながった。それを支えたのは新たな経営トップの永守重信氏だった。経営モットーは「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」だ。28歳で起業し、経営トップは今年35年目。精密モーターで世界一のシェアを誇る企業を率いる経営者だ。その思考回路には、「夢を見たら必ず実現すると思わなければならない」もあるらしい。メダルを狙ったからには実現するまでとの情熱が込められているようだ。だから、スピードスケートチームをしっかりサポートし続けてきた。「出来るまでやる」成果ともいえる。

「すぐやる…」のモットーは分かりやすいし、誰にも実行できることでもある。でもそれを徹底できるか否かが勝負だ。その成否が結果の成否を分ける。簡単な言葉だが実行は容易でない。その重要性をこのオリンピックは教える大会でもあった。

ところでバンクーバーのあるカナダのプリテッシュ・コロンビア州の州都はヴィクトリアで、両市は緑豊かで住みやすい美しい都市だ。天皇皇后両陛下も先頃訪問された。私も大学時代に奨学金でヴィクトリア大学に公費留学し、バンクーバーにも出かけた。リスに会えるスタンレーパーク、その北には中心街から30分で行けるスキー場。カナダは移民歓迎の国であり、人々も友好的で紳士的な国柄。開放性や国際性、人を大事にする志向やユーモアもこの国の人々から学んだ。感謝。(俊彦)

市長コラム

市交際費支出状況

▼平成21年度1月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	1	5,000
	累計	86	235,470
見舞い	今月分	0	0
	累計	4	40,000
御祝	今月分	0	0
	累計	31	187,570
賛助	今月分	0	0
	累計	6	43,720
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	4	10,780
	累計	71	180,865
会費	今月分	13	29,000
	累計	25	79,000
その他	今月分	0	0
	累計	2	6,510
合計	今月分	18	44,780
	累計	225	773,135

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115

▶ 市長のホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ys/> ◀